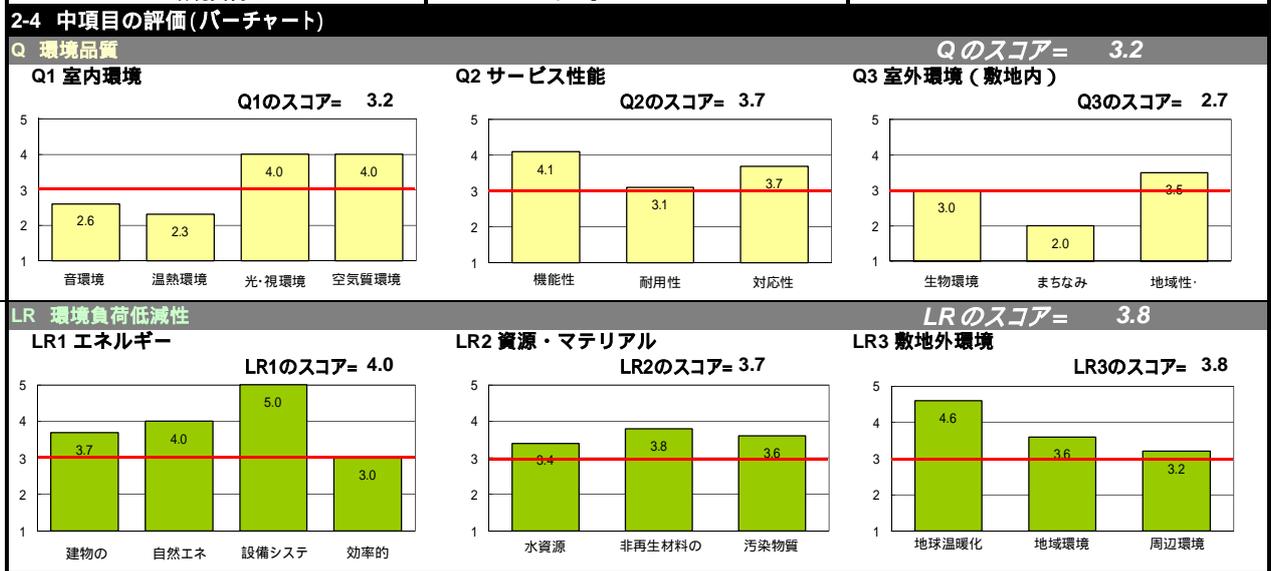
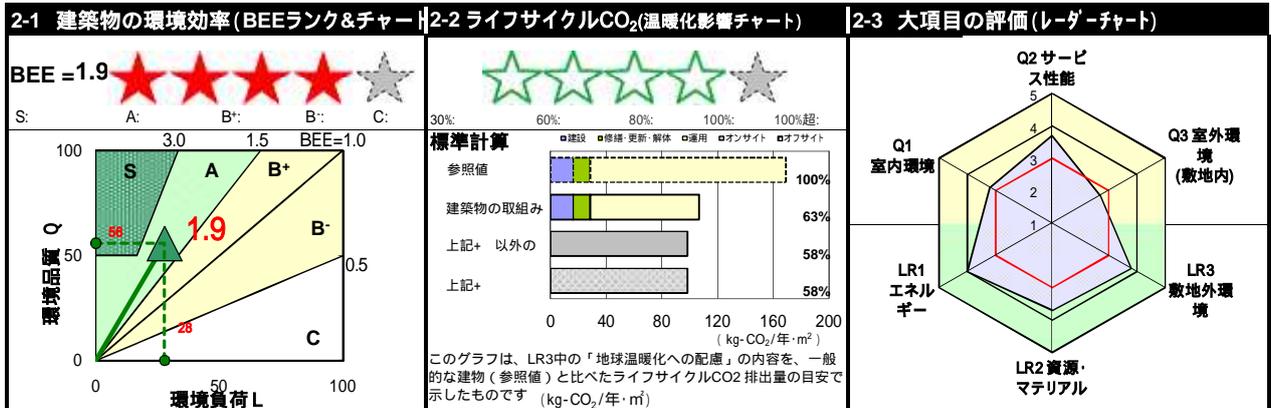


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤオコー相模原光が丘店	階数	地上2F		
建設地	相模原市中央区光が丘二丁目5209-3の一部	構造	S造		
用途地域	一低層住専、二住居	平均居住人員	2,500 人		
気候区分		年間使用時間	4,500 時間/年		
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2014年6月 予定	評価の実施日	2013年10月16日		
敷地面積	9,806 m ²	作成者	大和ハウス工業相模原支店一級建築士事務所		
建築面積	2,839 m ²	確認日	2013年10月16日		
延床面積	4,973 m ²	確認者	大和ハウス工業相模原支店一級建築士事務所		



3 設計上の配慮事項		
総合 102.90 kWのソーラーパネル、水蓄熱空調、高効率空調、全熱交換器、EV用充電器、既存樹木の保存、ポケットパーク(休憩スペース)の設置等、環境に配慮した設計としている。		その他 -
Q1 室内環境 断熱材の強化により外皮性能を上げ、温熱環境に配慮している。トアライトを積極的に採用し、光・視環境に配慮している。また、F 建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。UPSを採用、通信設備の多様化など、建物の耐用性・信頼性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。また、太陽光発電システムを採用するなど、エネルギー面にも配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓などの省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。リサイクル材を積極的に採用している。発泡剤を使用した断熱材を採用しないなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物に対して63%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。燃焼器具を採用せず大気汚染の防止に配慮している。適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、荷捌き車両の駐車施設を確保するなど、交通負荷の抑制に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される